

第25回関東IIC研究会

日時: 2017年12月16日(土) 18:30-

場所: 東京都中央区京橋1-4-11

「La Spazio」

= 主題テーマ =

『悪性度の高い大腸がん』

『転移をきたした大腸SM癌の特徴像』

= 特別講演 =

『血液1滴による癌の早期発見?!

-血清マイクロRNAの可能性-』

演者: 高丸博之 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

主催: 関東IIC研究会

会長: 藤井隆広 (藤井隆広クリニック)



第25回 関東IIC研究会プログラム

開会挨拶 18:30~18:35

藤井隆広 (藤井隆広クリニック)

特別講演18:35~19:10

『血液1滴による癌の早期発見?! —血清マイクロRNAの可能性—』

司会; 浦岡俊夫 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター 消化器内科)

演者; 高丸博之 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

主題テーマ:『悪性度の高い大腸がん』 19:10~21:00

司会; 藤盛孝博 (神鋼病院 病理診断センター)

1) 径15mm pT4a癌の1例

○福田 将義1)、和田 祥城2)、伊藤 崇3)、大塚 和朗1)

東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部1)

医療法人紀ノ国会 和田胃腸科医院2)

東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部3)

2) EMR後1年5ヶ月で肝転移をきたした直腸pT1癌の一例

○中野 尚子1)、松本さやか2)、渡邊真3)

藤田保健衛生大学 消化管内科1)、刈谷市保健センター2)、渡辺医院3)

3) 当院で経験したInterval cancerの6例

○寺井毅1)、渡辺英伸2)、村上敬3)、福嶋浩文、泉健太郎、立之英明、松本健史、澁谷智義、坂本直人

寺井クリニック1)、PCL Japan病理・細胞診センター2)、順天堂大学消化器内科3)

4) 診断に苦慮した大腸Ⅱa病変の1例

○砂川弘憲、大野康寛、新村健介、熊原加奈、古江康明、佐藤大幹、伊藤鍊磨、南出竜典、岡本直樹、山本陽一、高島健司、中條恵一郎、池松弘朗、小島基寛

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科

5) 4年間の経過を経てSSA/P合併癌へ移行した一例

○高取祐作、木下聡、砂田由紀恵、平井悠一郎、窪澤陽子、伴野繁雄、松下美紗
森英毅、中里圭宏、西澤俊宏、菊池真大、浦岡俊夫

独立行政法人国立病院機構東京医療センター

6) S状結腸に認めた8mmのIIa病変の1例

○三澤 将史、工藤進英、若村邦彦、漆原史彦、片岡伸一、前田康晴、山内章裕、小川悠史、
武田健一、石垣智之、中村大樹、松平真悟、矢川裕介、一政克朗、森悠一、小形典之、久行友和、
工藤豊樹、林武雅、馬場俊之

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター

7) 予測を超えた1例

○藤井隆広1)、藤盛孝博2)

藤井隆広クリニック1) 神鋼病院 病理診断センター2)

休憩21:00~21:20

主題テーマII:『転移をきたした大腸SM癌の特徴像』 21:20~22:00

司会 (Tandem talking);

高丸博之 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

池松弘朗 (国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科)

8) 当院におけるリンパ節転移、再発をきたした大腸SM癌の検討

○池松弘朗、新村健介、大野康寛

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科

9) 長期経過中に再発を来したSM癌の検討

一内視鏡治療後追加外科切除例と外科切除単独例との比較一

○高丸博之1)、齋藤 豊、山田真善、阿部清一郎、坂本 琢、中島 健、松田尚久1)2)、
関口正宇、金光幸秀3)

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科1)

国立がん研究センター中央病院 検診センター2)

国立がん研究センター中央病院 大腸外科3)

一般演題I 22:00~22:50

司会; 若村邦彦 (昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)

10) 前医にてnon-lifting signを認め、ESDにて一括切除可能であったLST-NGの一例

○江郷 茉衣1)、高丸博之、山田真善、坂本 琢、中島 健、松田尚久1)2)、関口正宇、
齋藤 豊1)

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科1)、

国立がん研究センター中央病院 検診センター2)

11) 内視鏡診断困難であった微小浸潤癌の一例

○福嶋浩文1)、坂本直人、泉健太郎、村上敬、上山浩也、立之英明、松本健史、荻原達雄、永原章仁、寺井毅2)

順天堂大学付順天堂医院 消化器内科1)、寺井クリニック2)

12) 深達度診断に苦慮した粘膜下腫瘍様の横行結腸癌の1例

○籾内洋平、堀田欣一、今井健一郎、伊藤紗代、岸田圭弘

静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科

13) 術前診断が困難であった9mm大の大腸SM深部浸潤癌の1例

○辻重継、土山寿志

石川県立中央病院 消化器内科

一般演題II 22:50~23:40

司会:伊藤紗代 (静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)

14) ESD穿孔後に局所再発をきたした大腸sm癌の一例

○紺田健一、小西一男、菊池一生、中谷真也、牛腸俊彦、飯島堅太郎、柳澤文人、田川徹平、東條正幸、木原俊裕、矢野雄一郎、久保田祐太郎、片桐敦、山村冬彦、吉田仁

昭和大学 消化器内科

15) S状結腸にみられた8mm 大のIIC 病変の1例

○武田晋一郎1)、西川貴雄、榎田智生、森居真史、齋藤秀一、岡部真一郎、為我井芳郎2)

国保松戸市立病院 消化器内科1) がん研有明病院 内視鏡診療部2)

16) 5mm大のIIC病変の検討

○小川正隆、工藤進英 山内章裕 若村邦彦

昭和大学横浜市北部病院消化器センター

17) NBI併用拡大内視鏡観察が有用であった早期大腸癌の一例

○古江康明、大野康寛、新村健介、熊原加奈、砂川弘憲、佐藤大幹、伊藤鍊磨、南出竜典、岡本直樹、山本陽一、高島健司、中條恵一郎、池松弘朗、小島基寛

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科

優秀演題表彰; 23:40~23:55

閉会の辞; 23:55~24:00

寺井毅 (寺井クリニック)



血液1滴でがんを診断！

AMC
AMC

血液1滴でがんを診断

血液中の
マイクロRNA
の網羅的解析

国立がん研究センター
バイオバンク

AMED研究開発プロジェクト
【体液中マイクロRNA測定技術基盤構築】



血液1滴ががん13種診断 早期発見へ新検査法

国立がん研究センターが、血液1滴でがん13種を診断できる新検査法を開発した。早期発見への新検査法として、がんの早期発見に貢献する。



13種類のがんの早期発見

1. 癌発生率の高い早期診断マーカーはがんの死亡率を改善し、治療成績に貢献
2. 国立がん研究センターのバイオバンクの豊富な検体、臨床情報を効果的に活用することによって高感度な発見が可能である（5年後の実用化を予定）
3. 早期診断のみならず、治療効果予測、新規薬剤の開発への応用も期待できる

Speaker in a dark suit holding a microphone, presenting the information on the screen.

Another person in a dark suit sitting at a table with a laptop, looking at the screen.

